

今 私たちにできること



- ①町消防団による水防工法訓練
- ②町内の避難場所や避難経路を確認したまちあるき
- ③地域住民を対象とした防災対策に関する講演会
- ④いざという時、住民で対処できるように訓練を
- ⑤地域の経験者の方に当時の災害のお話を聞く

自助・共助・公助で安心、安全なまちづくり 大切な人を自分の手で守るために

各地区では、地域住民を対象とした自主防災訓練や防災に関する講演会を行っています。また、町では平成 25 年度より、年に 1 回総合防災訓練を行っています。（平成 28 年度は牧地区で 9 月 4 日（日）に実施予定）

訓練は有事の対応を学ぶことができ、また地域の皆さんが参加する交流の場としての側面もあります。いざという時に家族、地域で動けるように、ぜひご参加をお願いします。

過去の記憶、教訓を引き継いでいく

総合学習の時間を使い、地区住民の方を招き、災害についての話を聞きます。

写真や資料だけでは伝わらない経験者の生の声に、子どもたちの関心は非常に高いです。

9.12 豪雨災害を風化させないように、家庭だけでなく地域でその記憶、教訓を伝承しています。

私たちのまちは私たちが守る

町消防団は、大垣消防組合中消防署東分署の協力のもと、5 月頃に水防工法訓練を行っています。実際に河川敷の現場で浸水、決壊状況を想定しての月の輪工訓練や土のう積み上げ工訓練などを行い、万が一の事態に対処できるよう備えています。

写真や資料で当時を振り返る

災害から 40 年経った今、改めて 9.12 豪雨災害について広く知っていただくために、ハートピア安八歴史民俗資料館では企画展を行っています。

当時の様子を生々しく写した写真や、被災者の作文の展示、また大変貴重な 8 mm ビデオによる動画上映も行っています。

詳細につきましては、ハートピア安八のページ（P.13）をご覧ください。

防災について知る

9 月 12 日（月）に、中央公民館で国土交通省木曾川上流河川事務所主催による防災シンポジウムが開催されます。

当日は講演とパネルディスカッションが行われます。詳細につきましては、今月の回覧をご覧ください。

また、当時の資料や最新の防災情報を掲載したパネル展をハートピア安八で開催中です。